



Car Design Academy



Car Design Academy

概要

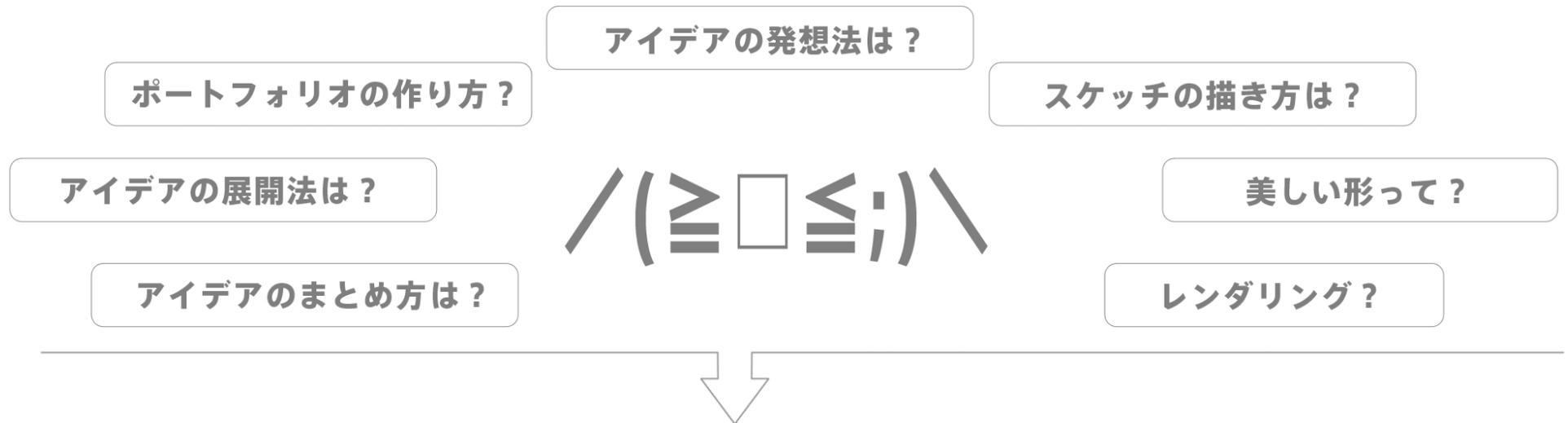
カーデザインアカデミーとは、国内外様々な車やプロダクトのデザインを手掛けてきたNORI,inc.が、これまでに蓄積してきたデザインノウハウを基に構築したデザイン講座をオンラインで提供する教育サービスです。

学習内容は課題を通した相互方向の授業形式です。受講生はスケッチ等のデザイン作業を行い、オンライン上で講師の添削アドバイスを受けながら作品制作を進め、カーデザインのプロセスであるコンセプト立案やアイデアスケッチ、そしてプレゼンテーションボードまでを体系的に学びます。

誰のためのサービスなのか

「カーデザインを学びたい」「もっと上手くスケッチを描きたい」と思っているがどうやっていいのかわからない。・・・そんな悩みを持つあなたのためのサービスです。

現在、日本にはデザインや美術を教えている学校が大学だけで89校、専門では140校あります。しかし、これらの学校でカーデザインを専門に教わることができるのはごく一部です。プロダクトの学科があっても車のスケッチを1から学べる場所はほとんどありません。カーデザインアカデミーは、スキルを満足に学べていない環境で、専門的なカーデザインについての教育を受けたいという高い向上心を持つ方に対して、基礎から応用テクニックまで丁寧な指導を提供します。

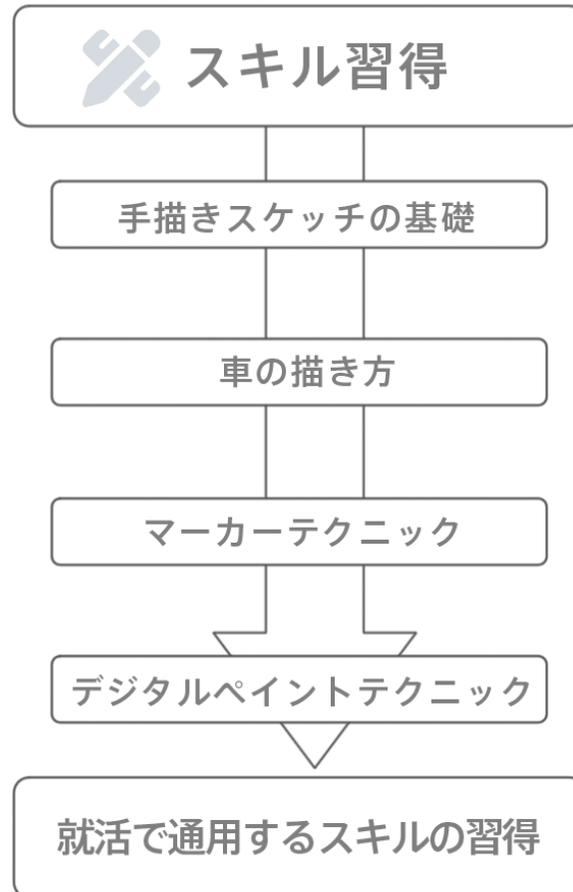


これらの「wants」や「needs」に応える講座を
いつでもどこでも受講可能なオンラインで！

どのように進めるのか？①

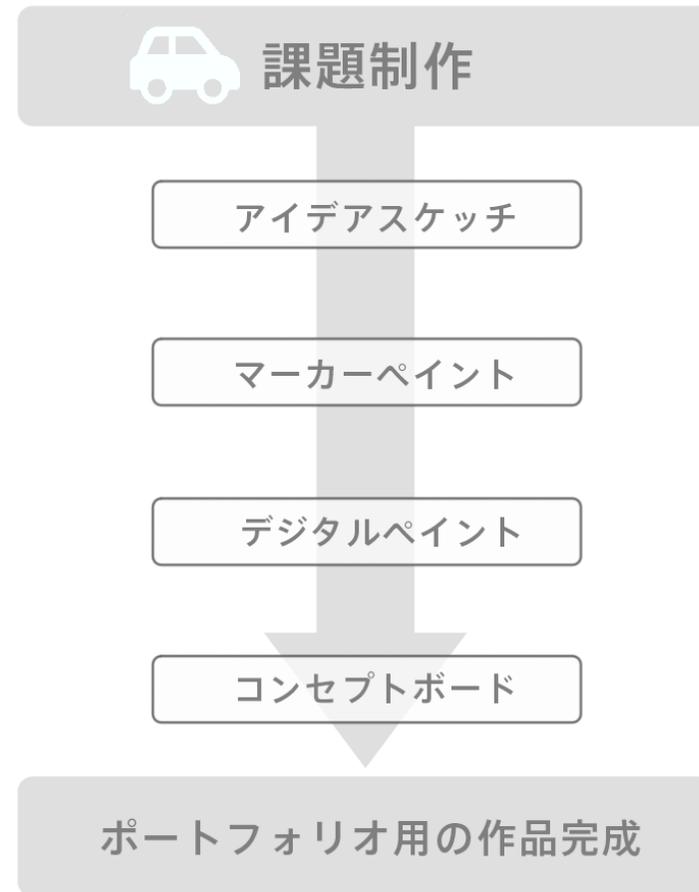
スキル習得から就活用ポートフォリオ制作までをステップを踏んで学ぶ

前半レッスン12回



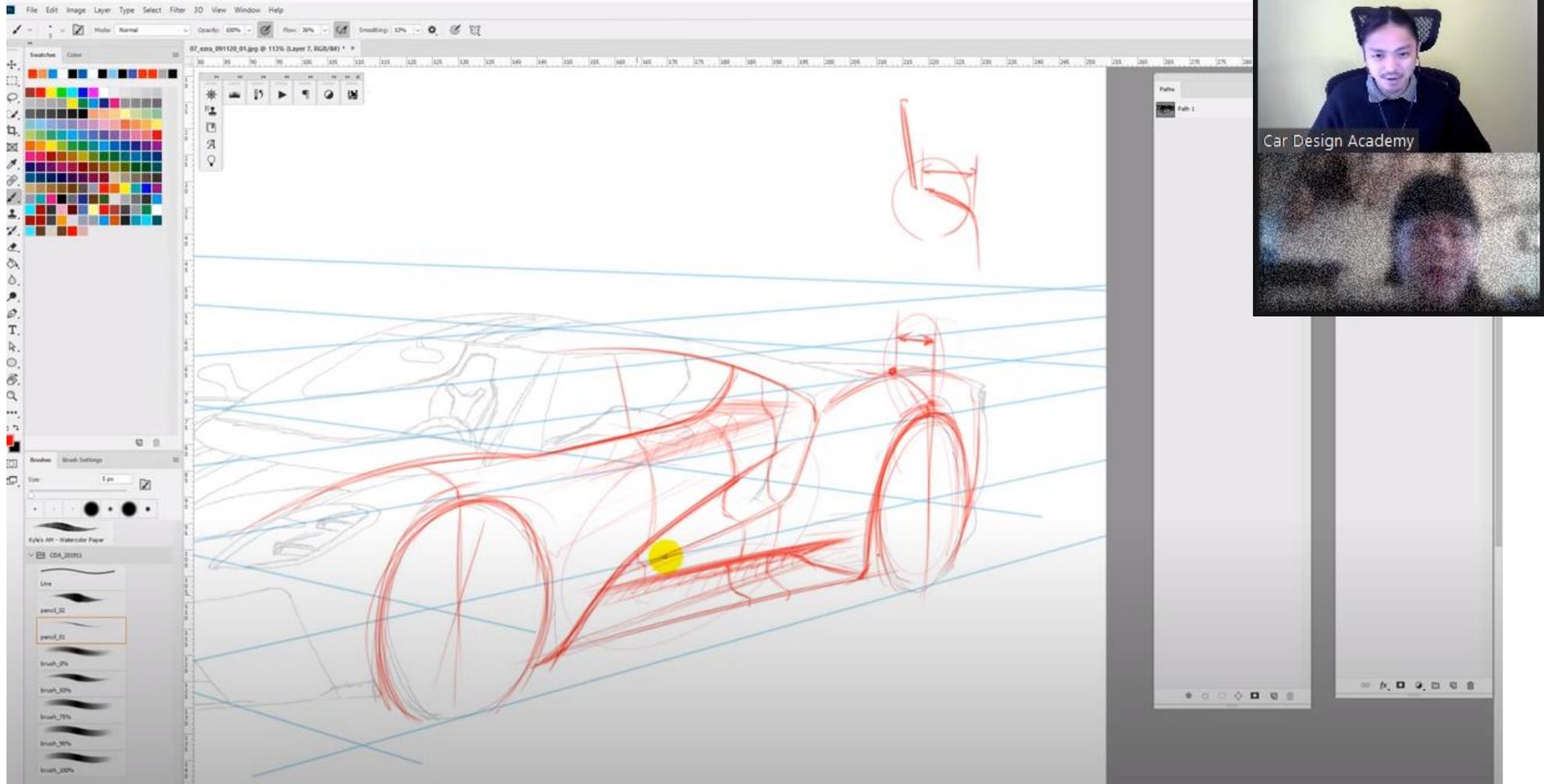
クラウド上のテキストと動画教材を使って課題を各レッスンごとに設定された課題に取り組みながら基本的なスキルを身につける。

後半レッスン12回

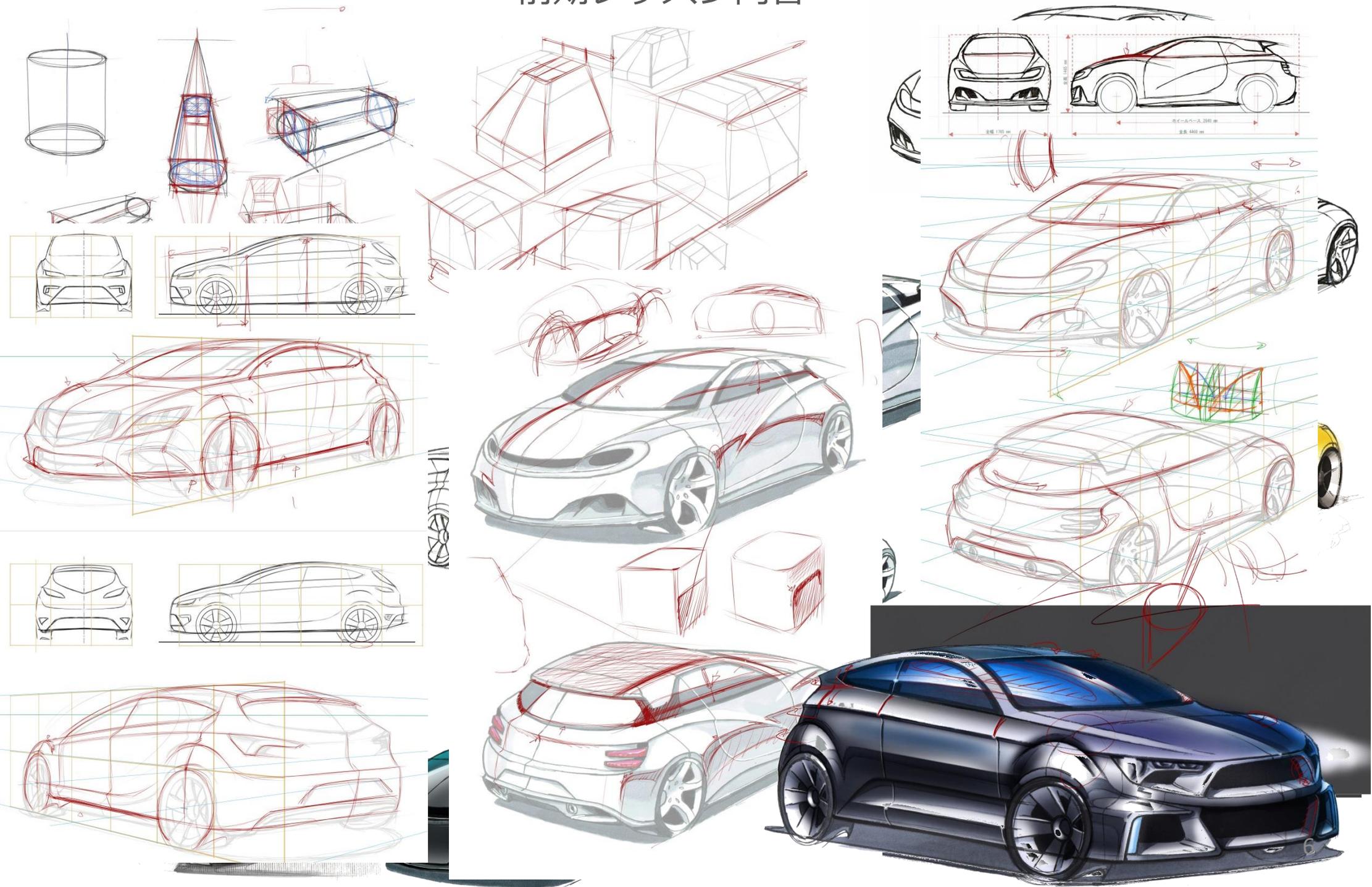


前半で身に付けたスキルを活かして就職活動に使えるポートフォリオを制作する。

レッスンの様子



前期レッスン内容



10 years later... JUST

都会において、免許を取らなかつたり、車自体に興味のない人が増えていく中で、そのような方々に車の魅力を伝えるには、自らその魅力に自然と気付ける"体験"してもらう事が重要だと考えます。



CONCEPT

車離れが進む中で、"他人の目を気にせず過ごせるパーソナルな空間"として興味を持ってもらい、次第に運転を好きになってもらえる車。

問題：若者の車離れが顕著

手段：プライベートな空間として車をまず使ってもらう。

目的：車の運転が好きになる人を増やす。



TARGET

40代男性 銀行員

結婚して東京に家族3人で住んでいる。

時々レンタカーを利用する程度。

自宅に自分の部屋がない。



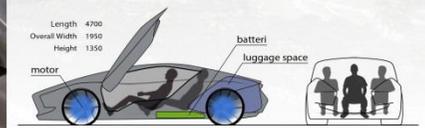
STORY

自動運転により、車内空間を自分だけの空間として満喫して段々と"移動する自分の部屋"という認識から、車に興味を持つようになる。

- "車内空間を自分だけの空間として使える"
- "好きな時間に好きな所へ自由に往ける"
- "自分の手でマシンを操縦できる喜び"



SKETCH



1200mm

<Lesson22> Concept Board the HOT HATCH NAGEL

meaning of the "nail" in German. The name shows the sharpness of the drivability and the body surface.

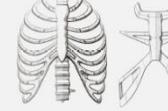


OSAMU WANAMI CAR DESIGN ACADEMY LESSON 22

Concept "Everyday Sports !!"

デザインに最適なサイズでありながら、走りの本質を追求した高い運動性能を備えることで、機能的かつ情緒的価値の両立を実現しています。ひとたびアクセルを踏み込めば、瞬く間に車道へといざないます。

Length: 4,275mm
Width: 1,800mm
Height: 1,470mm



Target Profile

Personality : "ascertain the essence"
Age:30
Sex : Male
Unmarried, having a girlfriend
Job : CG creator
Local : Yokohama

Scene



Daily



Weekly



Monthly



BACKGROUND

E-commerce and micro-business are very popular among young people who want to become an entrepreneur. They need a unique and attractive mobility to accommodate their activity.

CONCEPT

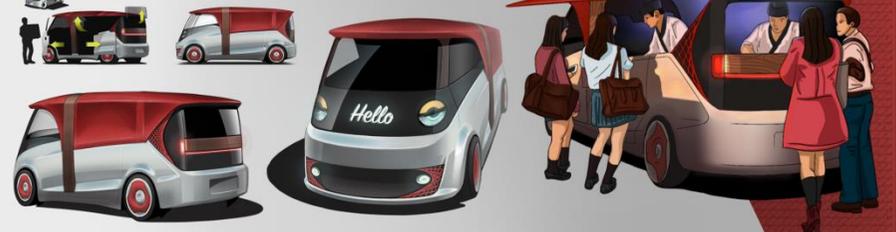
Electric mini-van for young entrepreneur to accommodate their commerce activity in 2025

NIAGA

- 2025 CONCEPT -



Pinisi is Indonesia traditional sailing ship built by Kanja tribe in Sulawesi. The ship reflect the cultural value of adventure and passion of entrepreneurship.





CONFIGURABLE:
 The interior of the vehicle will be a large open space. There will be 8 seats in total. These seats are able to act as a couch, or as individual seats on their own since each seat has its own seatbelt arrangement. Also the seats are placed onto a rail which gives the ability to move around.

SPLITTABLE:
 The vehicle is able to split into two smaller vehicles, eliminating the need for a second car.

Vis-A-Vis
 Electric. Autonomous. Configurable. Splittable. People Mover

TARGET AUDIENCE
 Age: 25-45
 Gender: any
 Family Structure: married with children
 Residence: city-suburbia
 Income: 25,000-40,000 euros per year
 Social Position: middle-class
 Hobbies: Travelling, Shopping, Sports



3 WHEELED TUK TUK

In my project I want to submit futuristic designs of the future three-wheeled vehicles, which I was inspired after living several years in Asia, so-called 'tuk-tuk'.

It will comfortably accommodate three passengers, and to work entirely on electricity, which in turn will get now and environmentally friendly way. The batteries will be replaced by high speed sensors of the transmission of electricity on the similarity of Wi-Fi will help tremendously to reduce the weight of the transport and the network of sensors will give the opportunity to move not only in metropolitan, but also outside it, as the mileage will depend solely on the wishes and needs of the driver and passengers!

Student of «Car Design Academy» (Japan)
 Demydyuk Varydn

Side view

FLEX CONCEPT 2025

Age range : 25 to 50
 Residence : MASDAR City, Abu Dhabi
 Income per Capita : 2100 USD
 Disposable Income : 1000 USD

Inspiration

Ideation

Interior

Usability (flexible structure)

Expendable Structure

Steered wheel (Steer-by-wire)

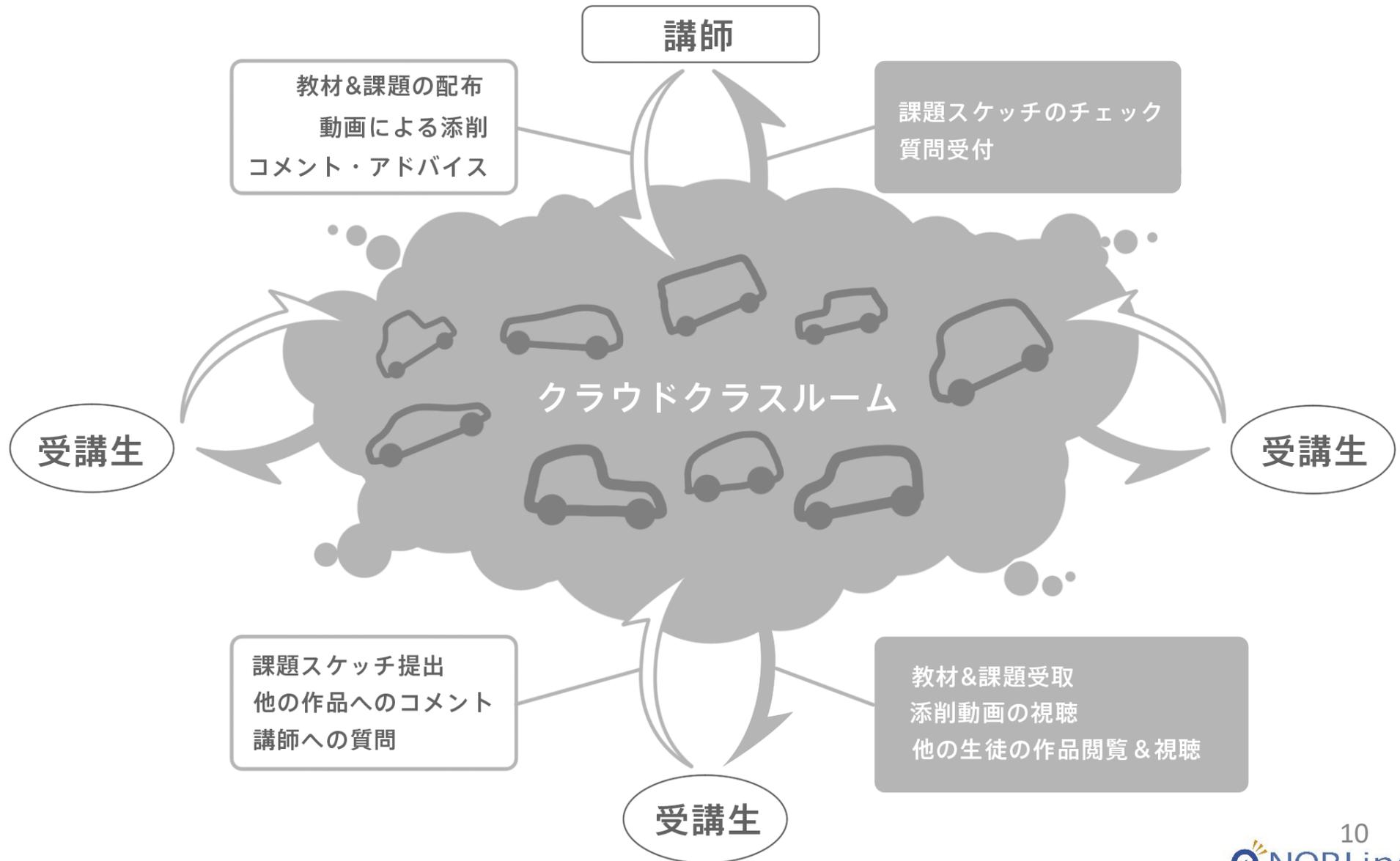
Wheel Structure

Rod
 Hydraulic steering
 Electric motor
 ball & socket

9

どのように進めるのか？②

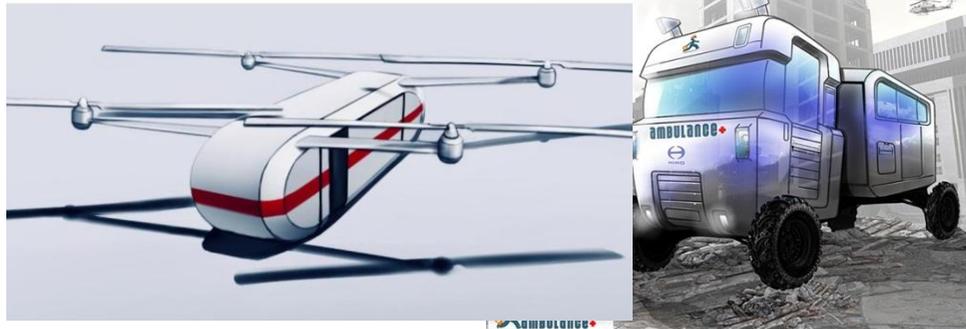
クラウド上の教室で相互方向の授業を行います。生徒は他の作品を見る事で、自分のレベルを知り、様々な考え方を得ることができます。



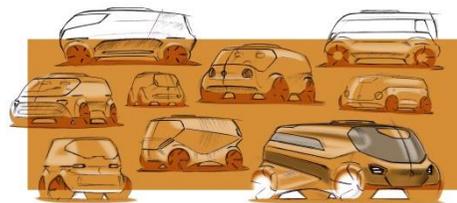


CDA学内コンペティション

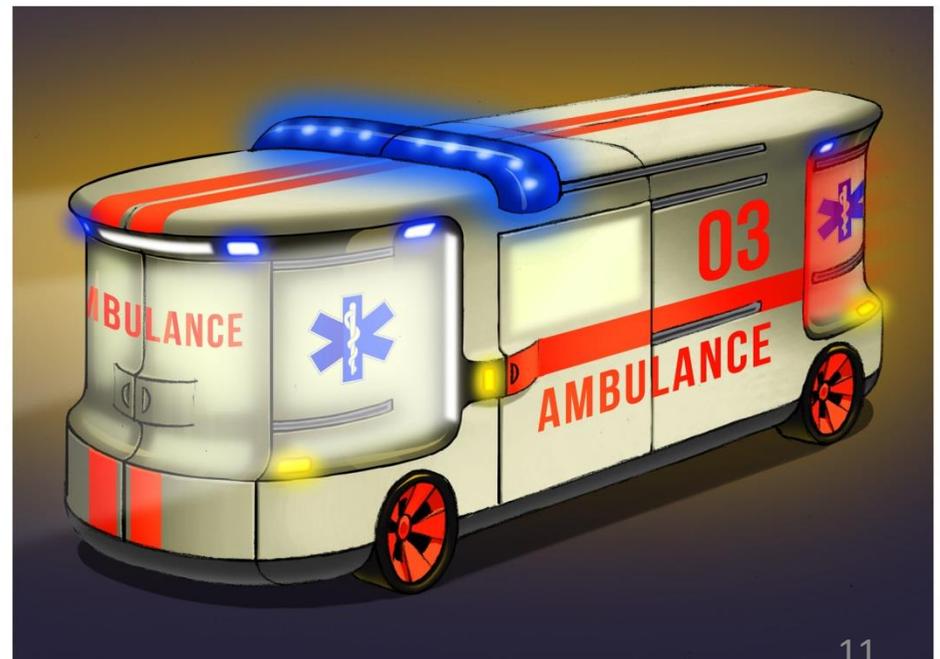
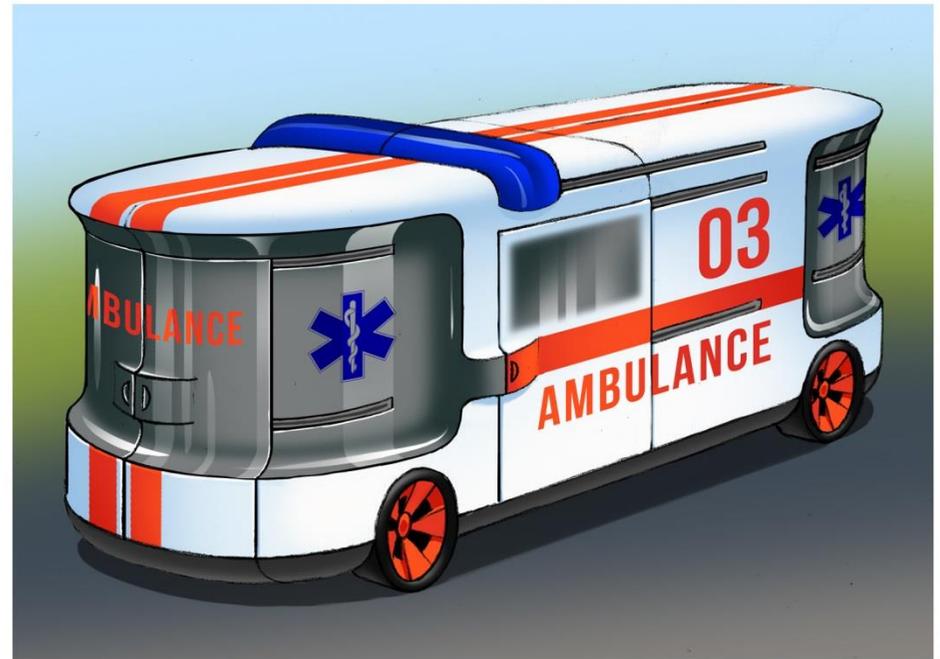
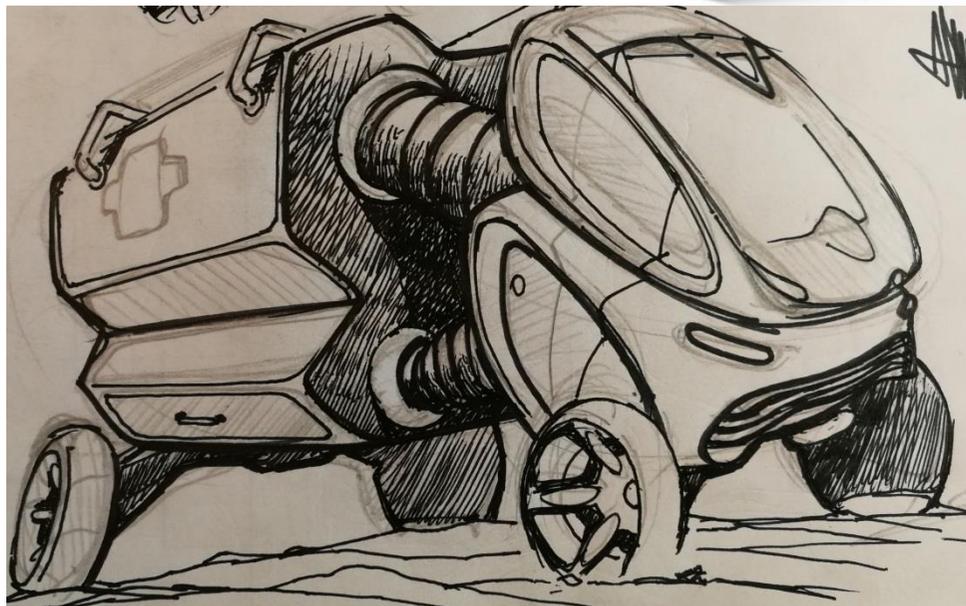
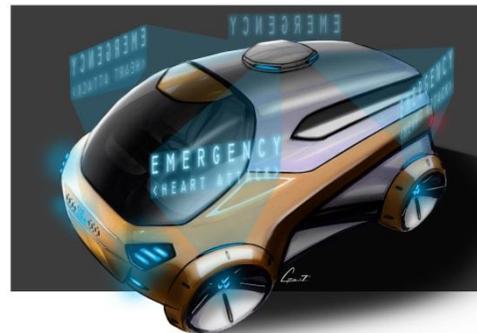
+ KAPSEL



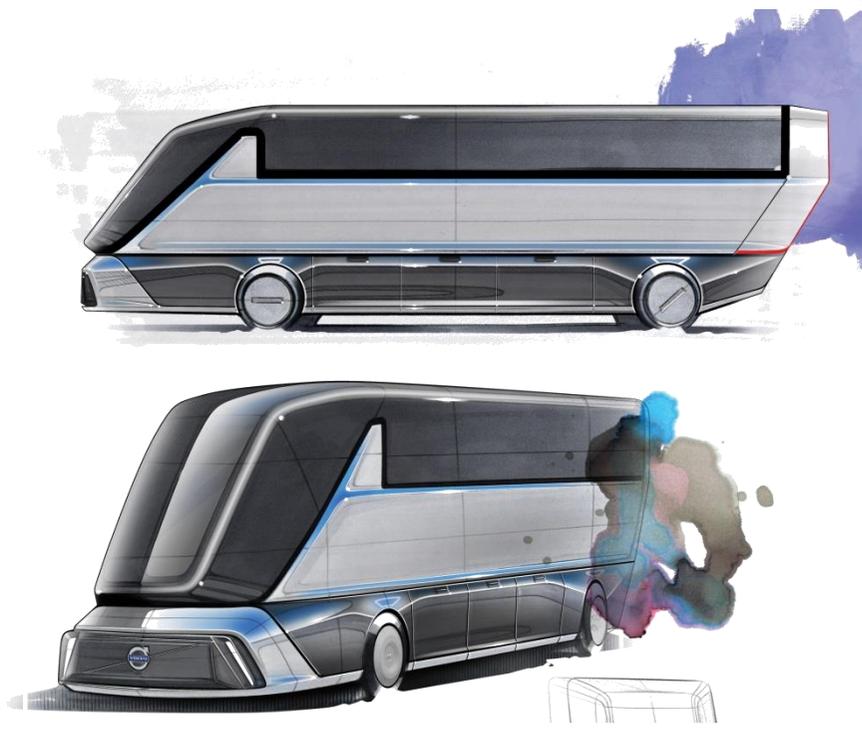
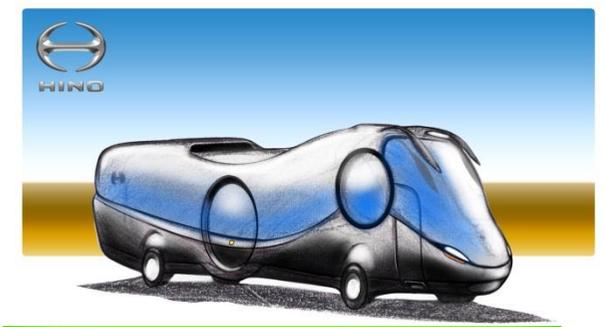
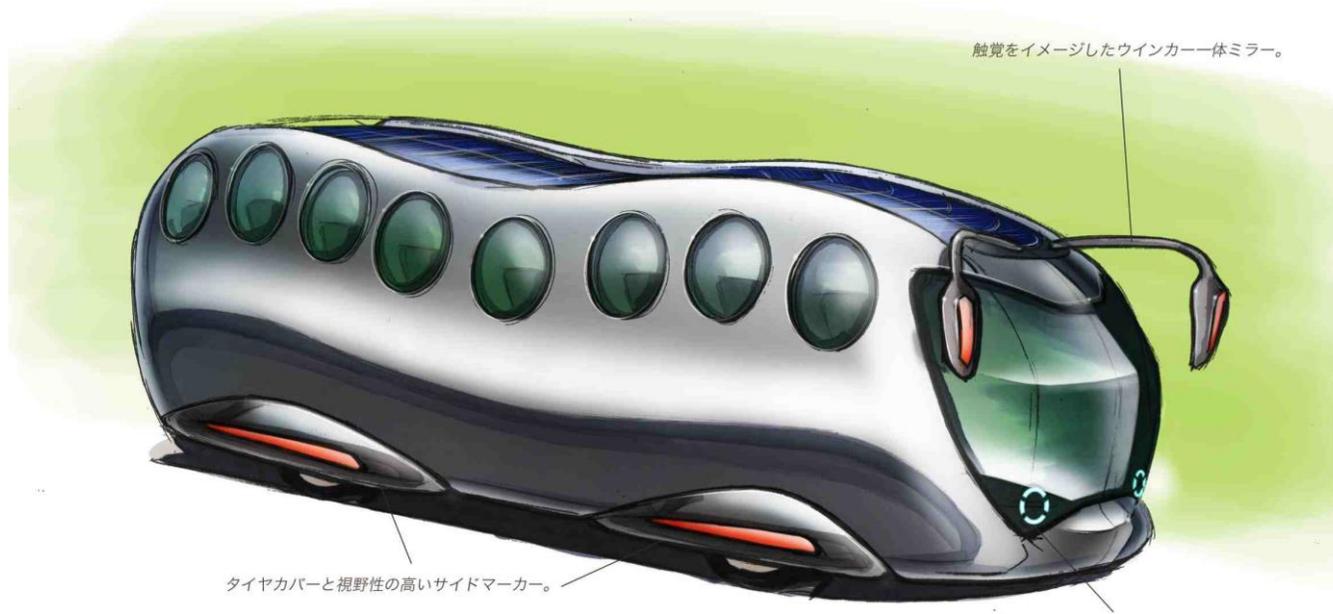
VOLKSWAGEN e-MERGENCY



VOLKSWAGEN e-MERGENCY



CDA学内コンペティション



みんなのメリットは？



学生

地方にいる学生でも、現役のプロから教わる機会が得られる。

地方にいる学生も、名門校に通っていない学生もプロの指導を受けられる機会を公平に得る事ができる。

他の学生を知る事で視野も広がり、自分のレベルを知る事が出来る。

学生はしばし、井中の蛙になりがち。他を知る事で自分を知り、さらに高みを目指せる。

就職に向けて、自分のすべき事を知る事ができる。

企業に太いパイプのある学校以外では就職についての情報は少なく、何をしたいのか分からない学生がいる。Car Design Academyで実習の内容を知る事で、就職に向けての対策を立てる事が出来る。



企業・カーデザイン業界

将来日本のデザインを担う学生の底上げにつながる。

優秀な学生を増やすことで全体のデザインレベルの底上げし、日本のデザイン力が向上する。

隠れた才能の発見。

就職先常連校（美大）以外の出身で全く違った考えを持った良い人材が見つかる可能性がある。

若者の車への関心を高めることで若者の顧客を増やす事につながる。

感性が高く周囲に影響を与えるデザイン・美術の学生がカーデザインに興味を持つ事は若者の車人気を高める事につながる。

今回のコンペで期待すること

エモーショナルな提案を

単純に「便利になったね」ではなく

・
・
・

モノではなく、ヒトにフォーカスした提案

どれだけテクノロジーが進化しても、人の持つ感情や欲求は変わらない。

♥ 感情：うれしい、楽しい、興奮・・・など

♥ 欲求：他者との繋がり、共感、承認・・・など

技術系の学生さんへ

テクノロジーファーストにならないで

デザイン系の学生さんへ

スタイリングファーストにならないで

ゴール設定

ユーザーにどのような体験をさせたいのか？

条件設定

どのような機能が必要なのか？

スタイリング設定

どのような外見にすべきなのか？



Car Design Academy